



戸来 伝
(市民連合クラブ)

繁殖素牛確保へ
支援充実を
現事業を継続していく

議員 繁殖素牛確保のための貸付制度の内容及と利用状況は。

農林部長 平成十九年度から県の補助金交付要綱に基づき基金条例を制定し、高齢者による肉用牛の飼養を促進することで肉用牛資源の確保及び高齢者の福祉向上に資するため、貸付制度を実施しています。平成二十六年までには繁殖雌牛八十一頭が導入され、今年度も三頭導入されています。一頭当たりの上限が六十万円ですが、現在子牛の価格が高騰し、いい子牛を手に入れにくいのが課題です。

議員 素牛確保のために補助金制度を拡充し、その上で新たな制度も必要だと考えるが。

市長 当市は昔から恵

まれた地形や草資源があること等から土地利用型畜産として肉用牛が発展し、今に至っています。

これからの肉用牛生産のために、まずは優良子牛の生産が必要です。そのため、黒毛和種改良組合と協議し、県の基幹種雄牛との交配に最適な「安福久」の繁殖用雌牛三百五十頭を確保するため、平成二十一年度から六カ年にわたり支援事業を実施した結果、今年度ほぼ目標どおりの頭数を確保できたと思っております。昨今飼養農家が減少する中、繁殖雌牛はほぼ横ばいで推移している上、生産子牛は市場でも大変高い評価を得ており、事業の効果が上がっていると思っております。

黒毛和種改良組合と連携して、今の事業を継続し

たいと考えています。

議員 現時点では繁殖雌牛の保有頭数が目標に届いていないが、このままでもいいのか。

農林部長 現在飼養戸数が減っている中、県も計画の見直しを図るとのことであり、当市も来年度、飼養戸数や目標頭数の変更を加えた計画の見直しをしようと考えています。

たいたいと思っております。



畜産振興への支援を

委員等の異動について

欠員となっていた各委員会等の異動について、お知らせします。

観光経済常任委員会

織川 貴司 議員が委員長に選任されました。その結果、委員会の構成は以下のとおりとなります。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 織川 貴司 |
| 副委員長 | 久慈 年和 |
| 委員 | 石橋 義雄 |
| 委員 | 戸来 伝 |

議会運営委員会

新たに 江渡 信貴 議員が選任されました。その結果、委員会の構成は以下のとおりとなります。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 戸来 伝 |
| 副委員長 | 石橋 義雄 |
| 委員 | 久慈 年和 |
| 委員 | 江渡 信貴 |
| 委員 | 小村 初彦 |
| 委員 | 堰野 端展 |
| 委員 | 赤石 継美 |
| 委員 | 畑山 親弘 |

上北地方教育・福祉事務組合

新たに 竹島 勝昭 議員が当選されました。